

研究に関するお知らせとご協力をお願い

2022年6月13日

横浜医療センター 産婦人科では、下記の研究を行います。
この研究は条件を満たす患者さん全員を対象といたします。もし、この研究への参加を希望されない場合には、対象とはいたしませんので、お問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

■研究名

『本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術（MIS）の実態調査』

■研究代表者

東海大学医学部専門診療学系産婦人科学
吉田 浩（准教授）

■当院における研究責任者ならびに研究分担者

研究責任者 産婦人科 医師 最上 多恵（部長）
研究分担者 産婦人科 医師 向田 一憲（医長）、栃尾 梓（医長）

■研究の対象となる方

2015年1月1日から2019年12月31日までの期間に、当院産婦人科にて手術（腹腔鏡手術、ロボット支援下手術）を受けられた子宮体癌の患者さん。

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則り、個人情報 は 厳重に保護した状態で行います。

■研究の概要

研究の目的及び意義

子宮体癌の治療には低侵襲手術（腹腔鏡やロボット支援下手術）が広く行われるようになってきましたが、本邦における保険診療との制約、施設の診療体制などにより、期待しうる結果が得られているかは明らかではありません。そこで、本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術の実態について解明するこ

とを目的として本研究を行います。

研究の期間

2022年 倫理審査委員会承認日 ～ 2023年3月31日

研究の方法

日本産科婦人科学会腫瘍登録データベース及び日本産科婦人科学会腫瘍登録施設から提供される診療情報（診断名、年齢、手術日、術式、組織型、病期、再発状況、生存状況など）を統計的に解析します。

個人情報等の取り扱い

電子カルテシステムから抽出されたデータに、電子カルテを直接閲覧して得られた追加データを入力したのち、連結可能匿名化して解析を行います。直ちに個人を特定できる個人情報を削除された形で提供します。

利益相反に関する状況

開示すべき利益相反は特にありません。

研究に関する情報公開の方法

研究代表者を中心に日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会にて検討した後に、学会発表・論文作成が行われます。

■ 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

本研究は既存の診療録情報を利用した後方視的疫学研究であり、対象者への文書や口頭によるインフォームドコンセント取得は困難であるため、相談に対しては個別に対応します。お問い合わせ先までご連絡ください。

■ お問い合わせ先 ※平日 8時30分 ～ 17時15分

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター 産婦人科
産婦人科部長 最上 多恵（当院 研究責任者）

〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2 電話 045(851)2621（代表）